

## ✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2016年11月23日 Süddeutschen Zeitung オンライン版

### ■ アウトバーン、連邦政府の所有のままに

Autobahnen bleiben in Bundeshand

アウトバーン管理会社に民間資本を導入するか否かについて、対立していたドブリント連邦交通相（キリスト教社会同盟/CSU）、ガブリエル連邦経済相（ドイツ社会民主党/SPD）、ショイブレ連邦財務相（キリスト教民主同盟/CDU）の3者が、このたび合意をみた。これによりショイブレ連邦財務相の推進していた、アウトバーン運営会社の少数株主持分を保険会社のような民間企業に売却するという路線は閉ざされたものとみられる。

ドイツ 2016年11月25日 Zeit オンライン版

### ■ 電気自動車：静かさに潜む危険性

Elektroautos : Leise, aber gefährlich

騒音の少ない電気自動車やハイブリッド自動車は、2019年夏より市街地の通行にあたって人工の走行音を立てることが義務付けられる。この措置は、歩行者や自転車利用者を巻き込んだ事故の予防を目的としている。このシステムは、専門家たちの間では「車両接近通報装置（AVAS）」と呼ばれている。Zeit誌オンライン版編集局の問い合わせに対する連邦交通省の回答によれば、2019年7月1日から欧州連合内で新たに開発される車両タイプすべてに、また2020年7月1日からは新たに認可を受けるすべての電気自動車とハイブリッド自動車にAVASの搭載が義務づけられる。

フランス 2016年11月28日 Goodplanet

### ■ 自動車所有コスト：2024年には電気自動車のほうがガソリン車より安くつく？

Budget automobile : l' électrique soutiendra la comparaison vers 2024

月曜日に発表されたあるヨーロッパの調査によると、テクノロジーの発展と価格の低下から2024年には電気自動車に乗ることはガソリン車を使うより安くつくようになるかもしれない。ヨーロッパ消費者機構（Beuc）はその報告書内で、ヨーロッパにおいて「2024年までにEVの所有にかかる平均的な総コスト（購入代および維持費）はガソリン車のそれに匹敵するものになるだろう」と指摘。ディーゼル車の場合、コストが拮抗するのは2030年とされる。

ドイツ 2016年11月29日 Spiegel オンライン版

### ■ 共同プロジェクト：ドイツの自動車メーカーが、電気自動車用の急速充電網を共同で計画

Gemeinschaftsprojekt : Deutsche Hersteller planen Schnellladernetz für E-Autos

移手段の電動化を推進するため、ダイムラー、BMW、フォルクスワーゲングループ、ならびにフォードが共同で、数千基の急速充電スタンドをヨーロッパ全体に整備することを計画中である。2017年には手始めに、欧州内の重要な交通軸に沿って、急速充電スタンド400基の設置に着手する予定。参加企業は火曜日、この計画を共同声明として発表した。2020年には急速充電スタンドの設置数を数千規模にまで伸ばす見込み。

ドイツ 2016年11月29日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ 収入に応じた交通違反金の導入、賛否が分かれたまま

Einkommensabhängige Bußgelder für Verkehrssünder weiter umstritten

諸州内務大臣の会議の様相から判断するかぎり、交通違反者の収入に応じて罰金の額を設定しようという案は

早晩に現実化しそうにない。罰金の一律引き上げについては、火曜日にザールブリュッケンで開かれた諸州会議に参加した内務大臣の多くが賛成の立場を明らかにしていた。

フランス 2016年11月30日 Goodplanet

### ■ 1月16日よりパリを走行する車に大気汚染防止ビニエットの表示が義務付けられる

Les vignettes anti-pollution obligatoires à Paris au 16 janvier

パリを走行する車はみな、「クリテール」と記された丸いビニエット（ステッカー）を貼らなければならない。政府が導入したこのビニエットは全6種。それぞれ車の大気汚染レベルを表しており、現在の電気自動車から1997年までに登録された自動車または事業用普通車、あるいは2001年までに登録されたトラックを対象とする。1997年1月1日前に登録された自家用車、1997年10月1日前に登録された事業用普通車、2000年6月1日前に登録されたオートバイのいわゆる「クラス外」の車両は、平日の8時から20時までパリ市内（環状高速道路内、ただしブローニュおよびヴァンセンヌの森と環状道路を除く）の走行が禁じられる。これらの自動車はパリ市によると全走行車両の2%、汚染物質排出量の5%を占める。なお、走行時間は制限されるが、駐車はこれまで同様認められる。

フランス 2016年11月30日 sanef

### ■ sanefとウェイズ社、サービスの連続性を保証するため、高速A14号線にあるトンネルにビーコンを整備

Sanef et Waze équipent les tunnels d' A14 de beacons pour assurer une continuité de service

フランスで初めて、高速A14号線にあるトンネル（デファンス地区を除く）にウェイズ社の「ビーコン」が取り付けられた。このフランス北部・東部高速道路会社（sanef）とウェイズ社との提携の目的は単純明快。GPS信号が通じない高速A14号線のトンネルを日々利用する30,000人のドライバーに対し、ウェイズのアプリを連続使用できる環境を提供することである。

ドイツ 2016年12月1日 南ドイツ新聞オンライン版

### ■ 10日間のアウトバーン利用料金が、わずか2.5ユーロ

2,50 Euro für zehn Tage Autobahn

欧州連合はドイツ政府の乗用車課金案を認めた。しかしながらキリスト教社会同盟（CSU）所属のドブリント連邦交通相は、利用料金の設定に関する譲歩を余儀なくされた。課金制度導入による1年間の収入は、最大でも5億ユーロにとどまる見込み。短期間有効のヴィニエットの料金は有害物質排出量に応じて5段階で設定され、2.5ユーロから20ユーロの間で購入できるようになる。

フランス 2016年12月9日 ATMB

### ■ ATMB、アルプスの生物多様性を守るため、オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏に協力して30万ユーロ超の投資を実施

Préservation de la biodiversité dans les Alpes : ATMB investira plus de 300 000 euros aux côtés de la Région Auvergne-Rhône-Alpes

レニエ＝エズリー（オート＝サヴォワ県）にて12月9日、モンブラントンネル高速道路会社（ATMB）はアルヴ川・支流整備混成事務組合（SM 3 A）、オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏、オート＝サヴォワ県議会、ローヌ・地中海・コシカ水保全局、ジュネーブ都市圏とともに「アルヴ川、アルプスの玄関口」という名の自然と水を守る契約に調印した。この契約を通じて、ATMBは高速A40号線（通称「白い高速道路」）をより簡単に動物たちが横断できるよう努める。具体的な種々の活動から成るこのプログラムは5年にわたるもので、緑の回廊の維持・修復、および生物多様性の保全を目的としている。

フランス 2016年12月12日 Goodplanet

## ■ 電気自動車購入特典が商用車にも対象拡大。電動化推進派は歓迎

Bonus étendu aux utilitaires : satisfaction des défenseurs de l' électrique

セゴレーヌ・ロワイヤル環境大臣がゼロエミッション車の購入と古いディーゼル車の廃車にかかわる特典を商用車にも拡大すると発表したことを受け、電気モビリティ推進派は土曜日、満足の意を表明した。大気汚染悪化を理由に、イル＝ド＝フランス地域圏では4日にわたり車両ナンバーによる通行規制が実施された。これを踏まえ環境大臣は、「タクシーを含む商用車に1万ユーロの買い替え特典を拡大する」と発表した。いわゆる「スーパーボーナス」と呼ばれるこの特典は、自家用電気自動車の購入者に対しては、製造から10年を超える古いディーゼル車を廃車にすることを引き換え条件として、2015年4月より適用されてきた。

ドイツ 2016年12月14日 連邦交通省

## ■ アウトバーン管理会社

Autobahngesellschaft

連邦内閣は本日、アウトバーン管理会社設立に向けての一括法案を採択した。この一括法案には、基本法の改訂、また管理会社の設立、連邦遠距離道路局の設立、ならびに移行措置に関する法律などが含まれている。

ドイツ 2016年12月14日 連邦交通省

## ■ 巨大トレーラーの走行が、適切な区間では恒常的に許可される見通し

Lang-LKW sollen dauerhaft auf geeigneten Strecken fahren

連邦道路交通研究所 (BASt) が巨大トレーラー (ギガライナー) の実地実験に関する最終報告を公表した。その内容は中間報告での良好な評価を裏付けるものだ。連邦交通省は、特定の区間に関して巨大トレーラーの通常走行を2017年1月1日付けで許可するべく法的基盤を準備中である。

ドイツ 2016年12月15日 Spiegel オンライン版

## ■ アウトバーンの試験走行区間：この標識は何を意味しているのか？

Autobahn-Teststrecke : Was bedeutet dieses Schild?

バイエルン州のアウトバーン沿いには、先頃から謎めいた記号の描かれた丸型の標識が立っている。これらは人間を対象としたものではない。幅約70cmの白黒の標識はドライバー向けのものではなく、コンピューター制御で走行する自動車の測位機能のための指標である。連邦道路交通研究所の解説によれば、自動走行車はこれらの標識の地理情報を利用することで、自らの位置を1cm単位の正確さで確定することが可能だという。

ドイツ 2016年12月16日 南ドイツ新聞オンライン版

## ■ 道路交通における高齢者：可能な限り、ハンドルを握り続けたい

Senioren im Straßenverkehr : Fahren, solange es geht

若かりし頃には、年間何千キロメートルという距離を走行していたドライバーたち。だが今、彼らは不安を抱えている。自発的に運転講習に参加する高齢ドライバーの数が増加している。ドイツの世論では、道路交通における高齢者というのは感情的な議論を誘発するテーマだ。このような事故が起きると、ほとんどの場合に、高齢者を対象とした免許停止措置や、運転適性テストの義務化、健康チェックの実施を求める声が上がってくる。ドイツでは1度免許証を取得すれば、無期限でこれを所有できる。自発的に免許を返納するか、あるいは交通違反ファイルの得点が一定数に達するかしない限り、免許が失効することはない。高齢者の自動車運転に関する規定は存在しない。